令和５年度　産業まつり報告書【アンケート集計結果】

東浦町産業まつりで、「地球温暖化対策」をテーマに、燃料電池自動車やプラグインハイブリッド自動車の展示、エコドライブシュミレーター体験等を実施し、来場者に楽しんでもらうとともに、意識啓発を図りました。

また、「地球温暖化防止策（エコドライブ等）に関するアンケート」調査を実施し、環境に対する意識等の把握調査を行いました。

開催概要については、以下のとおりです。

【開催概要】

１　実施日

令和５年 11 月 11 日（土）、12 日（日）

２　実施場所

東浦町中央図書館　駐車場

３　出展内容

（１）11 月 11 日（土）

・燃料電池自動車（トヨタ MIRAI）の展示 （愛知県主体）
・エコドライブシュミレーター体験 （愛知県主体）
・エコドライブに関するパネル等の掲示
・アンケートの実施及び啓発品の配布
「地球温暖化防止策（エコドライブ等）に関するアンケート」

（２）11 月 12 日（日）

・プラグインハイブリッド自動車の展示
・エコドライブに関するパネル等の掲示
・アンケートの実施及び啓発品の配布
「地球温暖化防止策（エコドライブ等）に関するアンケート」

４　回答者数　189 名

５　アンケート内容

（基礎情報）年齢、お住まい
（設問１）エコドライブに対する意識について
（設問２）運転時に意識している取組について
（設問３）保有している自動車の種類について
（設問４）環境にやさしい自動車への転換の検討状況について
（設問５）町が実施している地球温暖化防止に関連する補助金の把握状況について

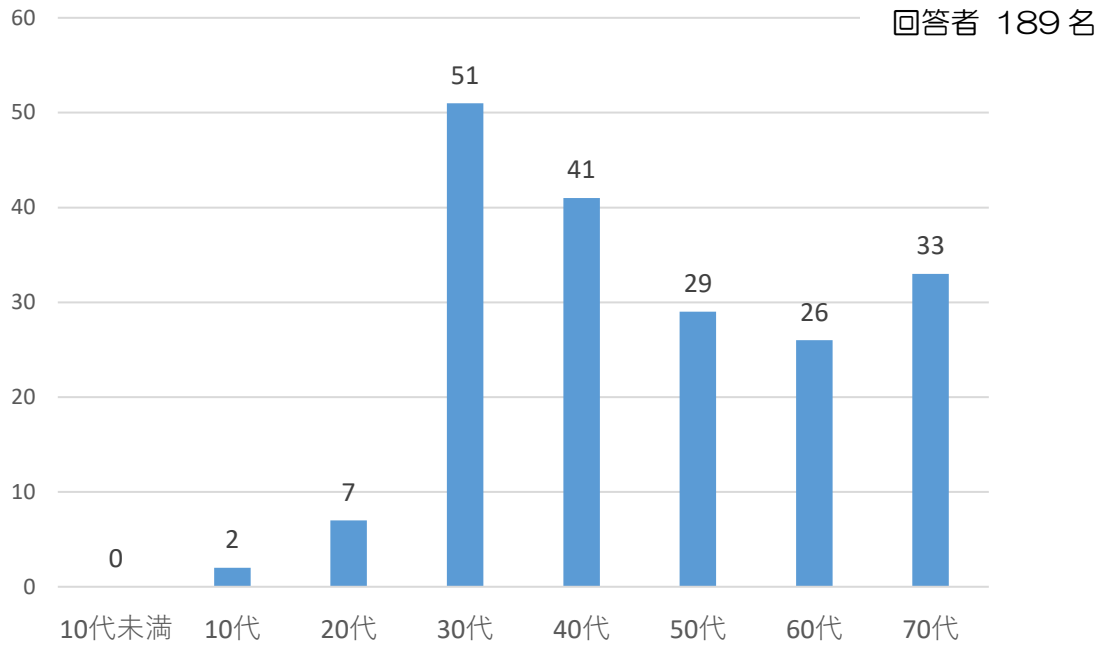
～産業まつりの様子～

燃料電池自動車（トヨタ MIRAI）の展示

エコドライブシュミレーターの体験

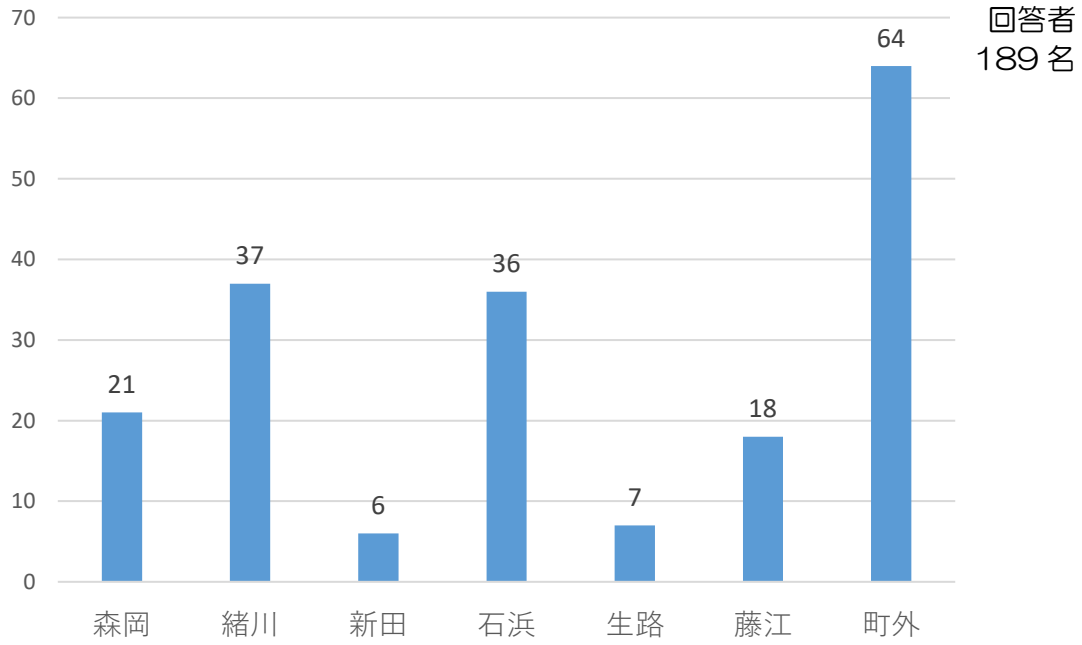
アンケート結果は、以下のとおりです。

年齢（基礎情報）



幅広い世代の方にご回答いただきました。

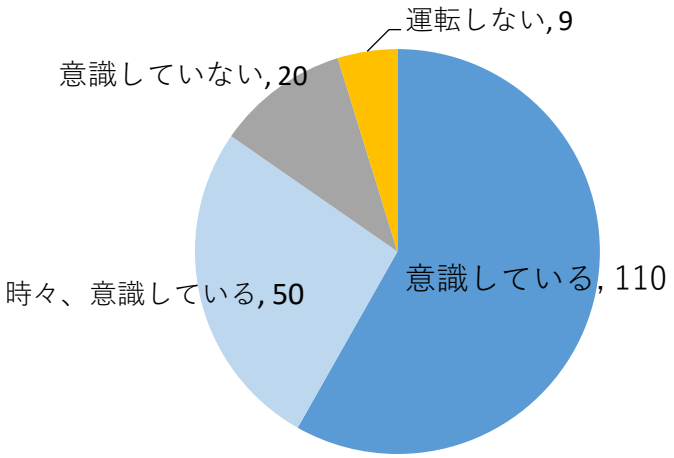
お住まい（基礎情報）



町外にお住まいの方もたくさん来場されていました。

Ｑ１　普段、車を運転するときにエコドライブ（アイドリングストップ等）を意識してますか？

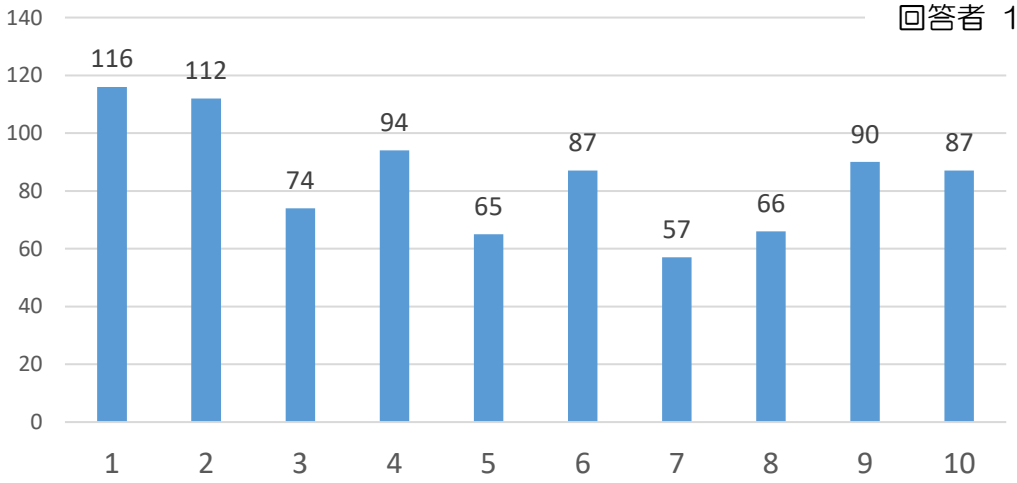
回答者 189 名



半数以上の方が、エコドライブへの意識を持って運転していることが分かりました。

Ｑ２　意識している取組は何ですか？（複数選択可）

回答者 189 名

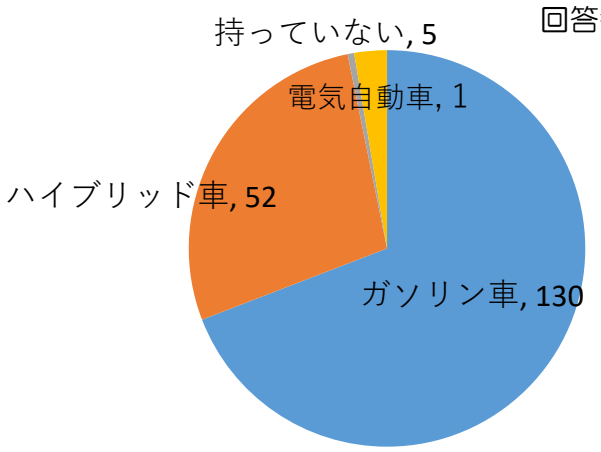


１　減速時は早めにアクセルを離す　　２　ムダなアイドリングをしない
３　自分の燃費を把握する　　４　ふんわりアクセルを踏んでいる
５　不要な荷物はおろす　　６　エアコンを適切に使用する
７　タイヤの空気圧の点検等を実施する　８　余裕をもって出発し、渋滞をさける
９　加速・減速の少ない運転をする　１０　走行の妨げになる駐車をしない

回答された方の多くが、一つだけの取組だけではなく、複数の取組を意識して取り組んでいました。
一番意識されている取組としては、「減速時は早めにアクセルを離す」でした。

Ｑ３　保有している自動車の種類を教えてください。

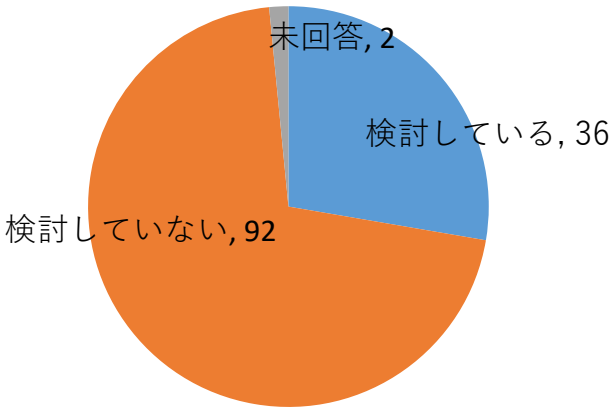
回答者 189 名（未回答：１名）



回答者全体の約７割がガソリン車を保有しており、まだまだ電気自動車等の環境にやさしい車への転換が進んでいない状況が分かりました。
プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車を保有している方は一人もいませんでした。

Ｑ４　次世代自動車への転換を検討していますか。

回答者 189 名（未回答：２名）

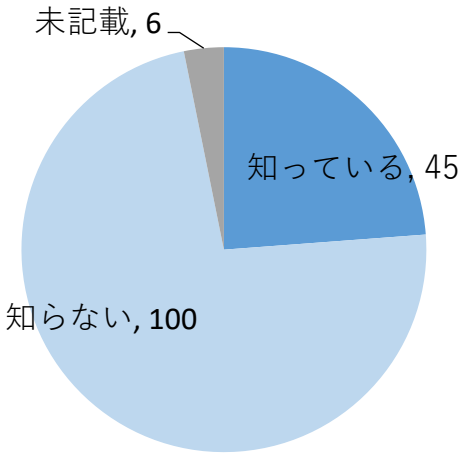


Q3 で保有している自動車として「ガソリン車」を選択した方のうち、約７割の方が、次世代自動車への転換を検討していない結果となりました。

東浦町では、地球温暖化防止対策の一環として、以下のとおり、
「次世代自動車購入費補助金」を実施しています。
① 電気自動車　５万円
② プラグインハイブリッド自動車　５万円
③ 燃料電池自動車　20 万円
次世代自動車の購入を検討されている方は、ぜひご活用ください。

Q５　東浦町環境課が「電気自動車の導入」や「充給電設備（V2H）の設置」等へ補助金を実施していることを知っていますか。

回答者 189 名



全体の約 65%の方が、東浦町が実施している補助金について、「知らない」という結果になりました。

東浦町では、「電気自動車の導入」や「充給電設備（V2H）の設置」以外にも、住宅に環境にやさしい機器を設置される方に対して補助金を交付しています。

環境に配慮した暮らしをご検討されている方は、ぜひご活用ください。

【住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金】

①	一体的導入システム（太陽光・蓄電池・ＨＥＭＳ）	１０万円
②	定置用リチウムイオン蓄電システム（蓄電池）	８万円
③	家庭用燃料電池システム（エネファーム）	６万円
④	太陽熱利用システム（自然循環型）	２万円
⑤	太陽熱利用システム（強制循環型）	４万円

最後に

国では 2050 年までにカーボンニュートラルを実現するという大きな目標を掲げています。この目標を達成するためには、工場等の事業者だけではなく、国民一人ひとりが環境に対する意識を高く持ち、環境を守る行動を「自分事」として実践していく必要があります。

運転時にはエコドライブを心掛ける、環境にやさしい機器や車の導入を検討するなど、できることから少しずつ実践し、地球温暖化対策に取り組んでいきましょう。

アンケートに回答してくださった皆様、ご協力ありがとうございました。

東浦町役場　生活経済部環境課 環境保全係